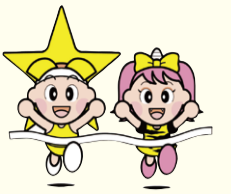


児童生徒の体力と運動習慣など



平成24年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査から

		岡山県平均	全国平均	全国順位
小学校5年	男子	55.20	54.07	9位
	女子	55.25	54.87	20位
中学校2年	男子	43.90	42.11	9位
	女子	49.25	48.62	18位

岡山県の小中男子の体力は全国9位。すごいでしょ！おかやまっ子！

新体力テスト8種目の合計点の県平均は男子が小・中学校ともに全国9位でした。また、小・中学校の女子も全国平均を上回っています。

図1 小5年男子

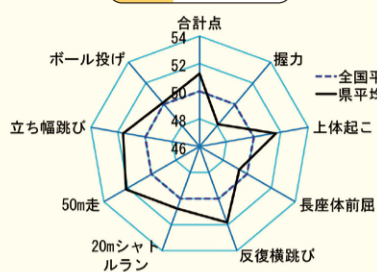
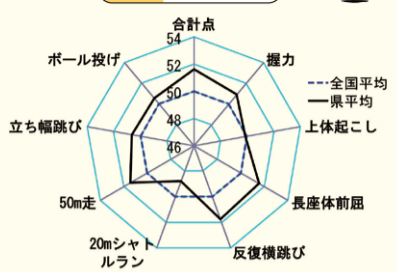


図2 中2年男子



種目別では、小・中ともに敏捷性を表す50m走や反復横跳びが全国平均を上回っています。一方、小学生は、握力・長座体前屈、中学生は20mシャトルランなどに伸び悩みが見られ、男女とも同じ傾向です。各学校では自分の学校の課題解決に向けて体力向上に取り組んでいます。

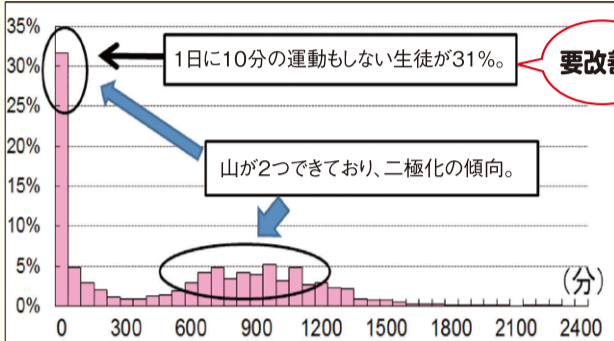
課題は運動する子としない子の二極化傾向!!

学校で!!

運動の習慣化の取組

家庭・地域で!!

中学校2年生女子 1週間の総運動時間数



体力は活動の源であり、健康の維持のほか、意欲や気力の充実にも大きく関わっていることから、各家庭においても、意識して運動するように心がけてください。目安は1日1時間の運動時間確保です!

みんなでチャレンジランキング



みなさんのクラスも是非参加してください!

学校・園では「みんなでチャレンジランキング」に取り組んで運動の習慣化を図っています。平成24年度は過去最高の3万7411人が挑戦しました。

岡山県 チャレンジランキング 検索

ラジオ体操



学校でもラジオ体操に取り組みましょう!

早鳥町では、運動の習慣化を図るために町をあげて「ラジオ体操」に取り組んでいます。ラジオ体操は「いつでも」「誰でも」「どこでも」取り組める運動です。みなさんのご家庭でも取り組まれてはいかがでしょうか?

みんなで盛り上げよう!!

2016年

岡山でインターハイ開催!

2016年(平成28年)、岡山県を主会場県として、中国5県で30競技の熱戦が繰り広げられます。【岡山県開催競技等】総合開会式、陸上競技、水球、卓球、ソフトテニス、バドミントン、剣道、登山、ウェイトリフティング、少林寺拳法

特別支援教育の充実

県立倉敷まきび支援学校の開校

平成26年4月、倉敷市真備町箭田に、県立倉敷まきび支援学校が開校します。

同校は知的障害部門及び肢体不自由部門の小学部・中学部・高等部が設置され、知的障害部門高等部には卒業後の一般就労をめざした職業コースも設定されます。



完成予想図

めざす学校像

一人一人の教育的ニーズに沿って、持てる力を高めるための適切な教育を行い、自立し社会参加できる児童生徒を育成する。

【設置部門・学部】

知的障害部門	肢体不自由部門
小学部	小学部
中学部	中学部
高等部(普通科) ○生活コース ○職業コース	高等部(普通科) ※訪問教育も実施します

【通学区域】

知的障害部門

ももその学園入所者、倉敷市のうち次の小学校区(万寿、中洲、中庄、菅生、庄、西阿知)及び次の中学校区(玉島東、玉島西、玉島北、黒崎、船穂、真備東、真備)、総社市、高梁市、吉備中央町のうち旧賀陽町《倉敷支援学校との調整区域》
小・中学部：倉敷市の倉敷東・倉敷西・老松・万寿東・大高・中島・旭丘・連島北小学校区
高等部：職業コースについては、倉敷市のうち通学区域となっていない区域

肢体不自由部門

倉敷市のうち次の中学校区(玉島東、玉島西、玉島北、黒崎、船穂、真備東、真備)、総社市、高梁市、吉備中央町のうち旧賀陽町
※訪問教育の通学区域は肢体不自由部門と同じです。

発達障害のある子どもの支援について

小・中学校及び高等学校には、特別な支援を必要とする子どもも通学しています。このうち、発達障害は、広汎性発達障害(自閉症、アスペルガー症候群など)、学習障害、注意欠陥多動性障害など、脳機能に関係する障害です。発達障害のある子どもたちは、程度に差はありますが、生活や学習上の困難さがあります。また、誤解を受けやすいため、自信をなくしたり、意欲が低下したりして、長期欠席や問題行動等につながる場合もあります。しかし、発達障害についての正しい理解と適切な支援を工夫することにより、友達と一緒に生活や学習ができ、持っている力を発揮することができます。



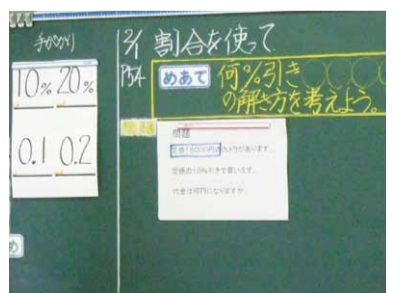
情報機器を用いることで教材を見えやすくしている例

県教育委員会では、発達障害のある子ども一人一人の教育的ニーズを把握し指導・支援することで、その子の良さをより一層伸ばす教育をめざしています。そのために、学校では、身近にいる教職員が良き理解者となり、どの子どもも安心して生活できる学級づくりと一人一人の障害特性に配慮した授業づくりに努めています。また、特別支援教育コーディネーターを配置するなどして、学校全体での支援体制づくりも進めています。さらに、それぞれの学校での支援が、次の学校でも引き継がれるような仕組みづくりに取り組んでいるところです。

保護者、学校、関係機関等が子どもを中心として連携を図り、将来の自立と社会参加に向けた支援を行うことが大切です。

なお、発達障害についてのご相談は、学校や岡山県総合教育センター、また市町村の相談窓口等もご利用ください。(7面に関連記事)

岡山県 発達障害に関する情報 検索



学習のめあてに加え、解決に向けた手がかりを示す板書の工夫例

第22回 ところをつなぐ作品展が開催されます!

10月29日(火)~11月3日(日)に、天神山文化プラザ第2展示室にて行われます。県内の特別支援学校15校と特別支援学級に通う幼児児童生徒の作品がそろいます。ぜひ、お越しください!